

米子をエンジョイしている人々

# よなびびと 第二回

全日本 Challenged アクアスロン皆生大会

実行委員会事務局長

うえむら  
**植村**  
ゆかり さん



「こんなに楽しいんだ！」を感じてもらおう喜び。  
あー、やめられへん！

全日本 Challenged アクアスロン

皆生大会は、皆生発祥の障がい児・者によるマラソン、水泳の複合競技大会です。植村さんは大阪府からの移住者で、ご自身のお子さんが障がいをお持ちであることをきっかけに、すべての障がい児・者の「やりたい」を叶える場をつくりたいと考え、同大会の開催に尽力されています。

「障がい児・者は、健常者が考えるよりずっと多くのことができる。」と断言する植村さん。国内トライアスロン発祥の地・皆生でアクアスロンの開催を呼びかけ始めましたが、一番大きな反対の声は、意外にも、危険性を心配する保護者たちからだったと言います。

「障がいのある人、特に高齢のかたの多くは皆生の海を泳いだことも、大山に登ったこともない。『できない』ではなく『したことがないから分らない』だけ。』多くの理解者、賛同者の協力により開催までこぎつけたアクアスロン皆生大会は、今年で12回目を迎えました。

お風呂でも記念メダルを身に着けたまま離さないという幼い選手。自分の周囲にも参加を勧めるため、毎年たくさんの参加申込書を持って帰る選手。一番うれいしいのは、やったことがないことを「こんなに楽しい！」と思ってもらえることだと笑顔を見せる植村さん。「味わってしまえば、やめられへん。次もがんばらな。」と来年に意欲を見せます。



選手一人ひとりに声をかける植村さん



毎年恒例、代表選手と植村さんによる選手宣誓

米子市グリーン購入適合紙を使用しています

米子市の人口と世帯数 平成30年10月末日現在（住民基本台帳による。） ※（ ）内は前月比  
人口 148,598人（+100人） 男性 70,742人（+57人） 女性 77,856人（+43人） 世帯数 66,761世帯（+107世帯）

編集発行／米子市総務部秘書広報課／〒 683-8686 米子市加茂町1-1／☎ 23-5372  
Eメール kouhou@city.yonago.lg.jp ■毎月1日発行 ■印刷／東京印刷株式会社

米子市役所（代表☎22-7111）

